

科目名	Web開発基礎							年度	2024
英語科目名	Web development foundation							学期	後期
学科・学年	I T スペシャリスト科	1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※
担当教員	大石直美			教員の実務経験		有	実務経験の職種		Webエンジニア

【科目の目的】

Webコンテンツを通じて効果的な情報発信が可能となる能力を身に着けることは、将来どのような職種、業種へ就職したとしても有意義に生かすことができる。したがって本講義では上記の学習を行い、Web開発の基礎技術を向上させることが目的である。

【科目の概要】

本講義は受講する学生は、HTML5とCSS3によるWebコンテンツの作成技法を習得する。昨今のWebコンテンツにおいては広告、宣伝効果が大きく、ビジネス戦略としても重要な位置づけにある。

【到達目標】

この科目では学生がHTML 5、CSS 3、JavaScriptなどのWebの仕組みを体系的に理解し、Webコンテンツの作成方法および環境構築方法を具体的に理解できるようになることを目標としている。また、実習課題でWebコンテンツを作成し、発表することでプレゼンテーションに必要な見せ方、パフォーマンス、表現力を身に着け、就職活動やその後の社会活動で活かせるようにする。課題作成を通して学生が自ら調べることや、工夫することを評価する。これにより、実学に基づく問題解決力を養うことを目標とする。

【授業の注意点】

本講義では、定期試験結果に加え、学生が自ら積極的に学習する姿勢を評価する。具体的には授業中の積極的な発言、質問、また自主的なWebサイト作成、各種コンテスト出品などの実績を見る。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ループリック			
ループリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力
到達目標 A	HTMLについてしっかり理解できている	HTMLについてある程度理解できている	HTMLについてあまり理解できていない
到達目標 B	CSSについてしっかり理解できている	CSSについてある程度理解できている	CSSについてあまり理解できていない
到達目標 C	フォームについてしっかり理解できている	フォームについてある程度理解できている	フォームについてあまり理解できていない
到達目標 D	レイアウトについてしっかり理解できている	レイアウトについてある程度理解できている	レイアウトについてあまり理解できていない
到達目標 E	これまで学んだ知識を活かししっかり総合制作ができる	これまで学んだ知識を活かしある程度総合制作ができる	これまで学んだ知識を活かし総合制作ができない

【教科書】

世界一わかりやすいHTML&CSSコーディングとサイト制作の教科書（技術評論社）

【參考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題、成果発表、平常点

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		Web開発基礎			年度	2024
英語表記		Web development foundation			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		
1	Webサイト制作環境の導入	開発環境構築を行える	1 ガイダンス	Webサイト制作の基本を理解する		
			2 開発環境構築	BracketsやVSCodeなどのテキストエディタ、Chromeなどのブラウザのインストール方法を理解している		
			3 画像	Webサイトで利用できる画像の形式を理解する		
2	HTML基礎知識	文書構造を考慮したマークアップ方法について理解し、見出し、段落、リストなどのタグを使うことができる	1 マークアップ	文書構造を考慮したマークアップ方法について理解し、見出し、段落、リストなどのタグを使うことができる		
			2 タグと要素と属性			
			3 header要素とbody要素			
3	HTML5の主な要素(1)	Pathを理解し、画像の挿入、ハイパーリンクをつけることができる	1 ファイル管理とPath	Pathを理解し、画像の挿入、ハイパーリンクをつけることができる		
			2 画像表示			
			3 ハイパーリンク			
4	HTML5の主な要素(2)	ページ構造を作るHTML5の新要素（見出しのグループ化、ナビゲーションなどの）タグを使うことができる	1 リスト	ページ構造を作るHTML5の新要素（見出しのグループ化、ナビゲーションなどの）タグを使うことができる		
			2 ナビゲーション			
			3 テーブル			
5	HTML5の主な要素(3)	フォームが作成できる	1 フォーム	フォームの仕組みを理解する		
			2 入力形式に合わせたフォームパーツ			
			3 お問い合わせフォーム			
6	実践的なWebページを作るには(1)	CSS3の基礎知識 セレクタの種類を知り、使い分けができる	1 CSS	CSSについて理解する		
			2 セレクタとプロパティ			
			3 疑似クラスと疑似要素			
7	実践的なWebページを作るには(2)	文字や背景のデザイン手法を学び、活用できる	1 文字のデザイン	文字サイズ、行間、書体、色		
			2 背景のデザイン	背景色、余白、見出し線、見出し先頭を画像装飾		
			3 段落のデザイン	字下げ、文字そろえ、字間を調整		
8	実践的なWebページを作るには(3)	ボックスモデル 回り込みレイアウトなどのUIデザインを学び、活用できる	1 ボックスモデル	ボックスモデル 回り込みレイアウトなどのUIデザインを学び、活用できる		
			2 ボックスサイズの計算			
			3 Webサイトの基本レイアウト			
9	実践的なWebページを作るには(4)	マルチカラムレイアウトやグリッドデザインを知り、レイアウト演習にて活用できる	1 マルチカラムレイアウト	マルチカラムレイアウトやグリッドデザインを知り、レイアウト演習にて活用できる		
			2 グリッドレイアウト			
10	制作演習(1)	これまでの知識を元にWebページを作れる	1 制作演習	HTMLとCSSを活用した、見栄え良いWebページを作成する		
11	制作演習(2)	これまでの知識を元にWebページを作成し、完成させる	1 制作演習	HTMLとCSSを活用した、見栄え良いWebページを作成する		
12	動的なWebページを作りには(JavaScript)	JavaScriptについて学び、クライアントサイドで動くプログラムのメリットを理解し説明できる	1 JavaScript	JavaScriptについて学ぶ		
			2 動的なWebページ	クライアントサイドで動くプログラムのメリットを理解し説明できる		
13	動的なWebページを作りには(jQuery)	短いコードでよりリッチなUIの実装が可能であることを学び説明できる	1 jQuery	動的なWebページを作る(jQuery)		
14	動的なWebページを作りには(Vue.js)	Vue.jsを用いて、ユーザーの動作に動的に対応したデザインやアニメーションなどを実装できる	1 Vue.js	動的なWebページを作る(Vue.js)		
15	総合制作実習・まとめ	これまでの知識を元に制作実習を行い、定期試験範囲を明示し、主体的に試験勉強ができる	1 総合制作	これまでの知識を元に制作実習を行う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかつた、D：まったくできなかつた